

活躍女子の職場づくり情報発信事業【三重県】

地域の実情と課題

【本県の産業構造と女性の就業状況】

・三重県は、工業出荷額約9.4兆円(全国シェア3.5%・9位)と全国的にみても製造業の比率が高い県であり、製造業従事者数においても全国15位である。そのため、他業種に比べ女性の活躍が進みにくい現状がある。

・就業構造基本調査によると、女性有業者に占める非正規就業者の割合は61%、全国4位であり、女性の年齢別就業状況から、子育て終了後の再就職の際、非正規雇用を選択する、もしくは、選択せざるを得ない状況である。

・27年度に実施した県民意識調査によると、女性自身の意識としても、「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業を持つ方がよい」という再就職型(40.1%)が一番多く、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という就業継続型(34.8%)を上回っている。これは、就労継続型が一番多い全国の傾向と異なっている。また、仕事と子育ての両立がしやすい環境であれば、2割以上の女性が再就職型から就業継続型に選択を変えると答えている。

【女性が活躍できる職場環境づくりの必要性】

・上記のように、出産等に伴い職業生活から離れる女性が多い中、ライフイベントに関わらず、女性がその意思に応じて自らのキャリアを継続できるための職場環境を整備することが急務である。

目的・目標

(目的)

働く場における女性の活躍を推進するためには、女性がライフイベントに関わらず、自らの意思で自身のキャリアを継続し、活躍できるための職場環境や風土づくりが必要である。

しかし、中小企業が大多数を占める本県においては、まだこうした環境の整っていない事業所が多いことから、既に効果的な取組や先進的な取組を実践している事業所等を公募し、その取組をリーフレットや県ホームページ等でモデルケースとして紹介することで、県内の働く場における女性が活躍できる環境整備の促進に取り組んだ。

(目標)

女性が長く働ける環境づくりに取り組む意向を持つ企業の割合
90.0%(32年度)

(達成状況)

89.9%(29年度)

事業の特徴

本県では、働く場における女性が活躍できる環境整備に向け、

- ①女性が活躍できる職場環境と風土づくり
- ②働く女性のモチベーション向上
- ③トップ及び男性の意識改革、

の3つの柱に沿った取組を行っている。

本事業は、上記①に該当するもので、県内のモデルケースとなる取組を事例集やホームページ、フェイスブックページにより広く発信することで、県内企業等における女性が活躍できる職場環境づくりの取組の促進を図った。

連携団体

【女性の活躍推進三重県会議】

(企画委員会)

三重県会議会員企業9社

(連絡会議)※女性活躍推進法に基づく協議会

公益財団法人三重県産業支援センター/女性の活躍推進三重県会議企画委員会/日本労働組合総連合会三重県連合会/三重県漁業協同組合連合会/三重県経営者協会/三重県商工会議所連合会/三重県商工会連合会/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県中小企業家同友会/三重県中小企業団体中央会/三重県農業協同組合中央会/三重大学/三重労働局/三重県

事業の効果

- ・事例集を活用した啓発により、「女性の活躍推進三重県会議」への33件の新規加入につながった。
- ・事例集掲載企業の取組については、「女性の活躍推進三重県会議」のホームページやフェイスブックページも活用し、モデルケースとして広く発信することができた。

今後の課題

女性活躍の気運は徐々に高まっているものの、まだ十分ではないため、本事例集等を活用して先進取組事例を広く発信するなど、県内事業所における女性が活躍できる職場環境づくりの支援に引き続き取り組む必要がある。

事業の概要

○事例集概要

【タイトル】「女性のチカラで企業力アップ！ ジョアアップMie」

※「ジョアアップ」とは“女性の活躍が企業力を高める”ことを表す造語。

【掲載内容】

先進取組企業10社の事例をはじめ、県内の女性活躍の現状や三重県の取組内容など、女性の活躍推進に取り組んでいただく際に参考となる情報を掲載。

【掲載企業10社】

あんしん経営株式会社(四日市市)/井村屋グループ株式会社(津市)/岡田パッケージ株式会社(松阪市)/生活協同組合コープみえ(津市ほか)/株式会社中広 三重支社(津市)/中部電力株式会社 三重支店(津市)/日本土木工業株式会社(御浜町)/特定非営利活動法人マザーズライフサポーター(鈴鹿市)/国立大学法人三重大学(津市)/株式会社山下組(志摩市)

○女性活躍推進コーディネーターによる活動

本事例集を活用し、県内企業等に女性活躍の効用等を説明するとともに、「女性の活躍推進三重県会議」への加入の働きかけを行い、33件の新規加入につながった。



みえの女性活躍推進事業【三重県】

地域の実情と課題

【本県の産業構造と女性の就業状況】

・三重県は、工業出荷額約9.4兆円(全国シェア3.5%・9位)と全国的にみても製造業の比率が高い県であり、製造業従事者数においても全国15位である。そのため、他業種に比べ女性の活躍が進みにくい現状がある。

・就業構造基本調査によると、女性有業者に占める非正規就業者の割合は61%、全国4位であり、女性の年齢別就業状況から、子育て終了後の再就職の際、非正規雇用を選択する、もしくは、選択せざるを得ない状況である。

・27年度に実施した県民意識調査によると、女性自身の意識としては、「子どもができたなら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業を持つ方がよい」という再就職型(40.1%)が一番多く、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という就業継続型(34.8%)を上回っている。これは、就労継続型が一番多い全国の傾向と異なっている。また、仕事と子育ての両立がしやすい環境であれば、2割以上の女性が再就職型から就業継続型に選択を変えると答えている。

【ロールモデルの必要性】

・上記のような理由から、出産等に伴い職業生活から離れる女性が多く、首都圏に比べ、地方では、活躍している女性のロールモデルがまだまだ少ないという現状があり、女性自身の意識を変えるためにも、身近なモデルとなりうる女性人材の育成が喫緊の課題である。

【男性の意識改革の必要性】

・28年2月に実施した県アンケート調査では、「今後、男女共同参画を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。」との問いに対して、「男性の意識改革」との回答が52.5%と第1位であり、あわせて取り組むべき喫緊の課題となっている。

目的・目標

(目的)

県内の女性活躍を推進するためには、女性が働き続け活躍するための職場環境づくりが欠かせないのはもちろんのこと、男性の意識改革や女性自らの意識の向上やチャレンジが欠かせないと考えられる。

そのため、29年度は、前年度開催したWIT2016にて発出された共同宣言(女性自らのチャレンジ・女性が能力を最大限発揮できる環境づくり・男性が変わる、働き方を変える)を具現化するための取組を進め、地方創生へつなげるとともに、県民一人ひとりが性別に関わらず、男女が共に責任を担い活躍できる男女共同参画社会の実現をめざし、取り組んだ。

(目標)

- ①女性活躍のロールモデルの創出:10人
- ②イクボス同盟加入社数:150社

(達成状況)

10人
150社

事業の特徴

・本事業により創出するロールモデルは、自ら事業を興す女性起業家だけでなく、会社など組織内で自らのスキルを活かし貢献する人や、社会的課題の解決に向けた活動を行なう人など、広く県内で働く女性を対象とし選定している。

・「女性の大活躍推進三重県会議」については、企画委員会(会員企業に所属する管理職等9名で構成)からの企業目線での意見を取り入れながら、事業運営を行っている。

事業の効果

①みえの女性活躍推進事業

- ・県内のさまざまな職業分野で活躍するロールモデル10人を新たに創出することができた。
- ・前年度のアワードにおいては、起業家の女性が多数を占めたため、今回は自社の女性を推薦いただく「推薦枠」を設けることで、10人中4人が組織で働くロールモデルとなった。
- ・県内のリーディング企業の協力により、自社の社名を冠した賞を授与いただき、授賞式でも女性の活躍を応援するエールをいただくことで、県内一丸となり女性の活躍を進めているという姿勢を示すことができた。

②地域女性活躍推進事業

- ・県内外の先進企業の取組について、苦労した点・工夫した点を交えるなど、深掘りした内容とすることで、より企業の取組の参考になる内容とすることができた。
- ・トップによるコミットメントの重要性等、登壇者から経営者へメッセージをいただくことで、経営者や管理職者層の意識改革を促すことができた。
- ・三重県会議について、企画委員会を5回開催し、企業目線でのご意見を取り入れながら運営を行った。また、企画委員の所属する企業の訪問を兼ねて実施することで、今後の三重県会議の取り組みの参考とすることができた。
- ・三重県会議加入の働きかけを行った結果、68団体の新規加入につながり、累計418団体となった。また、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届出件数(300人以下、平成29年12月末時点)は279件となった。

連携団体

【女性の活躍推進三重県会議】

(企画委員会)

三重県会議会員企業9社

(連絡会議)※女性活躍推進法に基づく協議会

公益財団法人三重県産業支援センター/女性の活躍推進三重県会議企画委員会/日本労働組合総連合会三重県連合会/三重県漁業協同組合連合会/三重県経営者協会/三重県商工会議所連合会/三重県商工会連合会/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県中小企業家同友会/三重県中小企業団体中央会/三重県農業協同組合中央会/三重大学/三重労働局/三重県

今後の課題

①みえの女性活躍推進事業

- ・アワードの募集においては、起業家に偏らずより身近な挑戦事例を応募いただくため、推薦枠を設け、企業等の組織で働く女性の応募についても促進を図ったが、開催地が県北部であったこともあり、南部エリアや伊賀エリアからの応募が少なく、またロールモデルの活動エリアも北勢エリアに偏りが見られた。次回開催においては、開催地の工夫や、これまで応募の少ないエリアの企業や市町を巻き込む等、県全体のロールモデルであることを意識し、県内各地におけるさまざまな職業分野におけるロールモデルの創出に努める。

②地域女性活躍推進事業

- ・女性活躍の気運醸成は徐々に高まっているものの、まだ十分ではないため、引き続き、女性が活躍できる環境整備に向けて、三重県会議への加入を促進し、企業等のネットワークづくりを進めるとともに、県内企業や経済団体、国、市町等、さまざまな主体と連携し取り組んでいく。
- ・今回のフォーラムで女性の活躍推進に対する「トップのコミットメント」、「トップからの発信」の重要性が再認識されたことから、引き続き、トップ等の意識改革につながる取組を進めていく。

事業の概要

①みえの女性活躍推進事業

・9月22日(金)、四日市都ホテルにおいて、県内で働く女性の挑戦を称える「チャレンジャーズ・アワード2017」を開催し、さまざまな職業分野で活躍する10人のロールモデルを創出した。

アワードの開催に先立ち、県内で働く女性の挑戦事例を公募し、応募総数79人の中から書類審査により10人のファイナリストを選定。当日は本ファイナリストがロールモデルとしてプレゼンを行った。

【名称】チャレンジャーズ・アワード2017

【日時】平成29年9月22日(金) 15:00～18:00

【会場】四日市都ホテル(三重県四日市市安島1丁目3-38)

【内容】「県内で働く女性で、何らかの挑戦を行っている人」という要件で応募のあった79人のうち、事前審査を通過した10人のファイナリストが3枚のスライドで各自5分間のプレゼンテーションを実施した。栄えあるみえモデル賞は、御浜町の土木建築会社に中途採用で入社し、取締役となった垣本美和さんのプレゼンテーション「中途採用から役員に～今社員に愛される会社を目指して～」が、本県を代表する働く女性のロールモデルとしての価値を提供し、地域への広がりが期待できることを評価され受賞した。会場の投票により決定するオーディエンス賞は、四日市市で子ども食堂等を運営している山田知美さんのプレゼンテーション「子どもの豊かな心を育む居場所「四日市子ども食堂55」の挑戦！」が、最も共感し、心を動かされたモデルと評価され受賞した。その他スポンサー企業からは、企業のコンセプトに合ったファイナリストたちにそれぞれの賞が贈られた。



・創出したロールモデルたちの取組や活動内容について、三重テレビや「県政だよりみえ」等の県の広報媒体や、本事業の特設ホームページ及び特設フェイスブックページ等において発信し、県民への周知を図った。

・ロールモデルたちの更なる成長の場づくりと、首都圏で活躍する人材の県内への呼び込みを目的に、2月17日(土)、働く女性のネットワーク交流会in三重テラスを開催した。

【名称】東京×三重 働く女性のネットワーク交流会in三重テラス

【日時】平成30年2月17日(土) 13:00～16:30

【会場】三重テラス 2階イベントスペース

【内容】2016年・2017年のアワードのファイナリストらが、三重のPR隊としての役割も担いつつ、働く女性のロールモデルとして首都圏のさまざまな方々との交流を深めた。



事業の概要

②地域女性活躍推進事業

- ・平成29年9月22日(金)、四日市都ホテルにおいて、県内企業のトップや管理職者層をターゲットにした「みえの輝く女子フォーラム2017」を開催した。フォーラムでは「女性の活躍」や「ダイバーシティ経営」をテーマに、県内外の先進取組企業のトップ等による基調対談及びパネルディスカッションを開催した。

【名称】みえの輝く女子フォーラム2017

【日時】平成29年9月22日(金) 13:00～18:00

【会場】四日市都ホテル(三重県四日市市安島1丁目3-38)

【内容】

①基調対談

テーマ「ダイバーシティ経営が成果につながる理由(わけ)」

講師

- ・佐々木 かをり氏(株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長、株式会社ユニカルインターナショナル代表取締役社長)
- ・内田 隆 氏(積水ハウス株式会社 取締役 専務執行役員 関連企画担当、人事部長)

②パネルディスカッション

テーマ「本音で語る！女性の活躍とダイバーシティ」

ファシリテーター

- ・古谷野 義之氏(経済産業省経済産業政策局 産業人材企画調整官)

登壇者(五十音順)

- ・海住 禎人氏(株式会社百五銀行 人事部長)
- ・加藤 丈典氏(エイベックス株式会社 代表取締役社長)
- ・福山 知子氏(カルビー株式会社 執行役員 経営企画本部本部長兼コーポレートコミュニケーション本部本部長)
- ・山口 恭子氏(株式会社ローソン 人事本部 人事企画部長)

- ・県内の女性活躍推進の気運醸成を図るため、「女性の活躍推進三重県会議」への加入を働きかけるとともに、本会議の企画運営を行う企画委員会及び、女性活躍推進法に基づく協議会である連絡会議を開催した。

